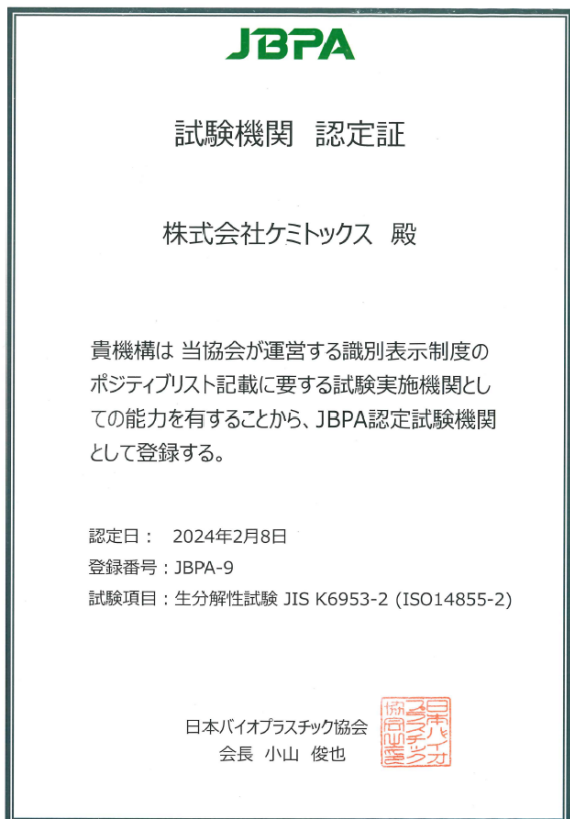


報道関係者各位

2024年2月16日  
株式会社 ケミトックス

## ケミトックスが2月にJBPAから 「生分解性プラ認証」の登録試験所として認定 試験・評価からグローバル認証までの体制を強化

(株)ケミトックス(本社 東京都大田区上池台 1-14-18 代表取締役 中山紘一)は、生分解性試験の受託サービスにおいて、日本バイオプラスチック協会（JBPA）が運営している「生分解性プラ認証」における登録試験所としての認定を取得した。



気候変動によるとされる災害の深刻化を受け、持続可能な社会の構築への関心が今まで以上に高まりを見せている。プラスチックについては、その使用量を削減する様々な試みが行われている一方、環境負荷低減のため、包装材料や食品容器、また農業資材などを中心として生分解性プラスチック（Biodegradable plastic）の使用が拡大しつつある。日本国内では、JBPAが独自の評価基準に基づいて、生分解性を有するプラスチック材料に対して「生分解性プラ認証」を発行する制度を運営している。

JBPAが発行した試験所認定書

ケミトックスでは、国際規格に基づき生分解度の試験を実施できる設備を導入し、昨年6月にJBPAに登録試験所の認定申請を開始し、半年ほどの審査の後、この度無事認定が完了となった。認定の対象は、コンポスト環境での生分解度を評価する JIS K 6953-2 (ISO 14855-2) に基づく試験方法である。これにより、生分解性プラ認証の取得要件である、JBPA の管理するポジティブリストに新規登録をする際の試験を、ケミトックスで実施できるようになった。



## 生分解性プラ

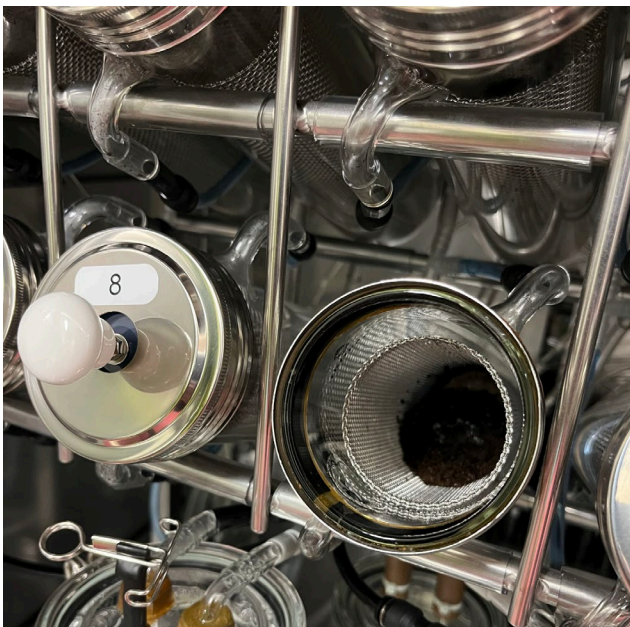
生分解性プラ認証マーク

同協会が定めるポジティブリストに記載されている材料の生分解性を試験した材料には、生分解性の基準と、環境適合性の審査基準を満たした製品に「生分解性プラ」のマーク（左図参照）を使用することが認められる。

ケミトックスでは、創業 50 周年を機に、現在業務を実施している東京本社第 2 ビル（東京都大田区南千束 1 - 1 - 5）をさらに充実させるとともに、山形県新庄市にある新庄試験センターに多様な生分解性試験装置を一挙に導入し、さらに業務を拡大する方針を打ち出している。また、同社は海外試験所や認証機関とのつながりも強く、幅広いネットワークを構築している。それを活用して、自社設備での受託試験から、国内はもとより、海外認証取得のための試験や申請のサポート業務まで、ワンストップでサービスを提供する体制を整えている。試験と認証の両面から、国内顧客へのサービスの拡充を会社全体の方針として推進していく。



《JIS K 6953-2 (ISO 14855-2) に基づくコンポストを用いた生分解性試験設備》



《生分解性試験の試験容器》

JBPA – 循環型社会の実現に重要な役割を果たす新素材であるバイオプラスチック（生分解性プラスチックとバイオマスプラスチックの総称）の普及促進と試験・評価制度の確立を目的に、1989年に設立された民間団体。

<http://www.jbpaweb.net/identification/index.html>

## 【当該企業の概要】

名称：株式会社ケミトックス

代表者：代表取締役 CEO 中山 紘一

所在地：東京都大田区上池台 1-14-18

設立：1975年9月3日

資本金：98百万円

主な事業：

- 生分解性試験、及び生分解性認証取得サポート
- パワーデバイスの試験・評価
- 鉄道車両、航空機、建材、水道関連製品、食品接触材料等に関する海外規格試験実施、及び規格対応コンサルティング
- リサイクル材認証取得サポート
- 太陽電池の安全性・信頼性評価
- バッテリーの安全性、信頼性評価
- 高分子材料等の燃焼性、耐熱性、機械性などの各種特性評価
- 有害化学物質の環境分析、プリント基板の故障解析および信頼性試験
- UL 認証など、海外の認証取得コンサルティング
- 通訳・翻訳サービス

ホームページ：<https://www.chemitox.co.jp/>

## 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ケミトックス 国際事業部 マネージャー 藤岡 博明

TEL：03-3727-7111

E-mail：hi-fujioka@chemitox.co.jp